

日本セラミックス協会理工系人材育成活動助成金 活動報告書

佐賀県立有田工業高等学校 セラミック科展 Saga Prefectural Arita Technical Senior High School Exhibition of Ceramic Department

(佐賀県立有田工業高等学校) 興梧 宜伸
(Saga Prefectural Arita Technical Senior High School) Koroki, Yoshinobu

実施日	2025年8月9日、10日	Date	August 9&10, 2025
実施場所	博多阪急(7階イベントホール「ミューズ」)	Place	Hakata Hankyu (7F Event Hall "Muse")
住所	福岡県福岡市博多区	Address	Hakata-Ku, Fukuoka City, Fukuoka Pref
主催	株式会社 阪急阪神百貨店 博多阪急 佐賀県立有田工業高等学校	Organizer	Co., LTD Hankyu Hanshin Department Store, Hakata Hankyu Saga Prefectural Arita Technical Senior High School

2025年8月9日(土)、8月10日(日)の2日間、「佐賀県立有田工業高等学校セラミック科展」を博多阪急7階イベントホール「ミューズ」で開催した。主催は博多阪急と本校である。また、公益社団法人日本セラミックス協会教育委員会から協力をいただいた。

本展を福岡県で開催する目的は、隣県であり交流人口も多い福岡の地で九州唯一の学科である本校セラミック科の活動内容を広く知っていただくためである。

博多阪急でのセラミック科展は、2017年～2019年と3年連続で開催していたが、コロナ禍の関係で2022年に2年ぶりに開催し、今回で7回目の開催となる。展覧会の内容は、授業作品の展示と体験コーナーである。展示関係では、授業で制作した陶磁器作品121点(全日制生徒作品69点・定時制生徒作品27点、聴講生作品25点)、展示パネル(全日制・定時制セラミック科紹介5枚、聴講生紹介2枚、ファインセラミックス関係課題研究の紹介(「人工ルビーの制作」、「畜光釉の研究」、「新しい鋳込み成型法でのリサイクル磁器の試作」))を展示した。また、セラミック科の概要がわかる動画も会場内モニターで放映した。体験コーナーは、絵付け体験とろくろ体験を行った。

展覧会には2日間で約350人の来場があり、絵付け体験・ろくろ体験ともに子供から大人まで幅広い年代の方々が体験された。(開催2日目は大雨による悪天候であったため、少ない来場者となってしまった。)絵付け体験では、みなさん楽しく絵や模様を自由に描かれていて、色とりどりの湯呑が完成させていた。絵付け体験(湯呑への絵付け)の数は、2日間で計144個であった。なお、絵付けした湯呑は、本校で本焼成し後日博多阪急に届け、博多阪急から体験者へ受け渡しをしていただいた。ろくろ体験では、磁器土の滑らかな感触を感じながら、手の中で自由に形が変わっていく「ろくろの楽しさ」を感じられている様子であった。ろくろ体験をされた方は、2日間で約100人であった。

本展を開催したことで、九州の方々に「セラミックスとは何か?」を含め本科の教育活動全般を知っていただくことができた。また、体験教室を通して絵付けやろくろ成型の楽しさを実際に感じていただく機会にもなった。今後多くさんの方に本科及びセラミックスについて理解を深めていただけるような活動を継続していきたい。

日本セラミックス協会理工系人材育成活動助成金 活動報告書



会場風景①
Scene①



会場風景②
Scene②



会場風景③
Scene③



絵付け体験コーナー①
Painting section①



絵付け体験コーナー②
Painting section②



ろくろ体験コーナー
Potter's section